

プレゼンテーション教材作成の 基本的な考え方

愛媛県総合教育センター
教育開発部 情報教育室

デジタルコンテンツの種類

デジタル素材	・写真や動画、音楽データ等
Web教材	・ブラウザで利用できる教材
学習用ソフトウェア	・開発された、市販の教材
プレゼンテーション教材	・プレゼンテーションソフトで作成

スライド作成の留意点

- ① スライドの種類を明確にする。
- ② 「読ませる」より「見せる」スライドを作成する。
- ③ 文字のサイズ、色、フォントに注意する。
- ④ アニメーションは効果的に設定する。

① スライドの種類を明確にする

配布用	・読ませるスライド
研究発表用	・項目を示し、話して伝えるスライド
教材用	・理解させたり考えさせたりするスライド

② 「読ませる」より「見せる」スライド フレーズ化

- ・ 箇条書き
- ・ 体言止め
- ・ 長さや表現の統一
- ・ キーワードの活用

フレーズ化の例

フレーズ化をすると、視覚的に理解することができやすく、伝えたい内容を整理しやすい場合が多い。



- ・ フレーズ化の効果
 - － 視覚的な理解
 - － 内容の整理

② 「読ませる」より「見せる」スライド

図解化

<チャンキング>

関連のある情報を枠で囲んで、一つのまとまりとして表現する。

<STEP BY STEP>

チャンキングしたものを流れに沿って表示する。

図解化の例

・イメージを固める

- － 盛り込む内容を決める
- － ラフな絵で構図を

イメージを固める

- ・盛り込む内容を決める
- ・ラフな絵で構図を

・原図を作る

- － イラストやデータの収集
- － 素材の作成・編集

原図を作る

- ・イラストやデータの収集
- ・素材の作成・編集

・仕上げる

- － 素材を貼付、サイズ調整
- － 配置の統一性を図る

仕上げる

- ・素材を貼付し調整
- ・配置の統一性を図る

チャンキング

図解化の例

・イメージを固める

- － 盛り込む内容を決める
- － ラフな絵で構図を

・原図を作る

- － イラストやデータの収集
- － 素材の作成・編集

・仕上げる

- － 素材を貼付、サイズ調整
- － 配置の統一性を図る

イメージを固める

- ・盛り込む内容を決める
- ・ラフな絵で構図を

原図を作る

- ・イラストやデータの収集
- ・素材の作成・編集

仕上げる

- ・素材を貼付し調整
- ・配置の統一性を図る

STEP-BY-STEP

③ 文字サイズ、色、フォントに注意

文字サイズ、色

- ・ 文字サイズ、色 (20)
- ・ 文字サイズ、色 (24)
- ・ 文字サイズ、色 (32)
- ・ 文字サイズ、色 (36)

文字サイズは32pt以上！

- ・ 文字サイズ、色 (48)

③ 文字サイズ、色、フォントに注意

文字サイズ、色

- ・ 文字サイズ、色 (20)
- ・ 文字サイズ、色 (24)
- ・ 文字サイズ、色 (32)
- ・ 文字サイズ、色 (36)

コントラストをはっきりと！

- ・ 文字サイズ、色 (48)

③ 文字サイズ、色、フォントに注意

テンプレートの利用

- ・ 教材用スライドには使用しない！
 - － 集中力を欠く原因になりかねない。
- ・ 利用する場合は、最初に決定！
 - － 後で適用すると、配置やフォントが変わる。

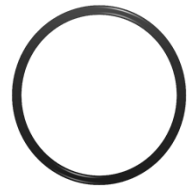
試験の概要

- 求められる人物像
 - 積極性、誠実性、協調性
- 面接試験のねらい
 - 最大のポイントは「やる気」



試験の概要

- ▶ 求められる人物像
 - 積極性、誠実性、協調性
- ▶ 面接試験のねらい
 - 最大のポイントは「やる気」



③ 文字サイズ、色、フォントに注意

フォント

- 見えやすさを最優先！
 - 明朝体よりゴシック体
- MSPゴシックではなく、MSゴシック！
 - 初期設定では、MSPゴシックになっている。
 - MSPゴシックは、縦が揃わない。

フォント（MS Pゴシック）

よいプレゼンテーションにするためには、伝える作業であるプレゼンテーションの重要性を認識し、問題意識を持って十分な準備を行い、心を込めて伝えることが大切である。

フォント（MS ゴシック）

よいプレゼンテーションにするためには、伝える作業であるプレゼンテーションの重要性を認識し、問題意識を持って十分な準備を行い、心を込めて伝えることが大切である。

④ 効果的なアニメーション

文字は動かさない

- 内容よりも動きに目を奪われる。
- 意味のない動きは、理解の妨げになる。
- 「アピール」や「フェード」が望ましい。

文字は動かさない

• 教育重点施策

- －教職員の資質・能力の向上
- －確かな学力の定着と向上
- －生徒指導の徹底と健全育成
- －特色ある学校づくり
- －特別支援教育の推進

④ 効果的なアニメーション

文字を強調させるための工夫

- アンダーライン
(アニメーション：ワイプ)
- 囲み線
(アニメーション：ホイール)
- 文字色の変化

文字強調の例

＜スライドの作り方＞

- 文字サイズ、色、フォント
- シンプルな効果
- フレーズ化 図解化

④ 効果的なアニメーション

図や画像を効果的に利用

- 答えを隠しておいて後でめくる。
(アニメーション：ワイプ)
- 答えた順番で動作させる。
(開始のタイミングの設定)

三人の武将

答えた順に動作させる



①



②



③

デジタルコンテンツの作成例

- 小さい物の大きさを認識させ、全体像を拡大して見せる。
- 一部分から、全体像を考えさせる。
- 図を動かして、視覚的に理解させる。
- 問題をクリックすると答えが表示され、個別学習で利用する。